

3月



園だより

令和7年3月1日
佛教大学附属こども園

「仏教保育3月のねらい」

ちえきぼう
智慧希望

「20年後を生きる力の基礎を育む」

園長 佐藤和順

今年度も残りわずかとなりました。日一日と春に近づいています。

3月は進学・進級に向けてのまとめの月です。

今月の保育目標は「智慧希望（ちえきぼう）希望をもち楽しく暮らそう」です。いつも希望を胸にもち、明るい明日の生活を目指して、よく学び、よく働き、すべての人のために楽しい社会を生み出すように努めることの大切さを感じてほしいと考えています。

「智慧」とは知識・技術や情報量の多さを問題にするものではありません。経験したことや身につけた知識や技術を活かし、先を見通して問題を解決する力のことです。AI等の発展により現在の人類の想像を越えた時代が来ると言われています。個人的には既に始まっていると感じています。子どもたちが成人し活躍する時代は、これまでの知識や情報が役に立たない時代かもしれません。そのような時必要になるのが、新しい価値観を創出する力、自分で課題を発見し、自分で解決しようとする力、他者に説明できる力です。これこそが「智慧」です。小学校・中学校等においても、知識を学ぶだけでなく、どのように活用するかを考え、「何のために勉強するのか」という意識を持つことが重要だとされています。主体的・対話的での深い学びの方法で授業が行われ、生涯、能動的に学び続けることを目指すとされています。単に知識を増やすことではなく、得た知識をいかに使うのか。まさに「智慧」です。

「智慧」を身に着けるためにこども園では、準備段階として心の根っこの部分を育てることに重点をおいています。しっかりとした根がなければ、その上にしっかりとした幹や枝は育ちません。花や実をつけることを急ぐのではなく、土台となる根をしっかりと育てたいと考えています。幼児期に友だちとかかわり、自分の五感を働かせしっかりと遊びこむことが、「智慧」の芽生えとなります。

当園を巣立った子どもが10年、20年先それぞれの場所で生き生きと「智慧」と「希望」をもって活躍してくれることを切に願っています。

最後になりましたが、保護者の皆さまには1年間温かく見守っていただき、園の運営にご理解ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

